

もえぎ便り



早いもので2023年も残すところ、あとわずかとなりました。今年は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行となったため、制限なく修学旅行やもえぎ祭りの行事をはじめ、教育活動を行うことができました。保護者や地域の皆様には、学校内外において、御支援・御協力をいただきありがとうございます。

2学期は、つながり学習やコミュニティ・スクール等で地域の方々と交流したり、学校行事を制限なく行ったりすることができました。今回のもえぎ便りでは、子どもたちが学校行事や地域の方々との交流から、様々なことを積極的に学ぶ姿をお届けします。

コミュニティ・スクールとは…

地域と学校が一丸となって子どもたちを育むために「学校運営協議会」を設定した学校のことを指します。本校では昨年度からコミュニティ・スクールの一環として「ボランティア先生」に来ていただき、専門的な知識や技能を教えてもらっています。

小学部5年生 「和太鼓を演奏しよう！」

小学部では、コミュニティ・スクールのボランティア先生である「遠州吉田小山城太鼓保存会」の大石先生と道士井先生が、5年生に太鼓の指導をしてくださいました。10月、11月、12月に1回ずつ太鼓の授業を行い、ばちの持ち方やたたくときの構え方、たたく位置など、大きな音を出すためのポイントを、見本を見せたり一緒に叩いたりしながら教えてくれました。毎月来てくれることが分かると、授業の前には、「今日は太鼓の日だね」「できるようになったことを見せたい」など先生を心待ちにする姿が見られました。授業中は、大石先生と道士井先生の指導を熱心に受け、自分の演奏に取り入れようとする姿が印象的でした。回数を重ねるごとに音が揃うようになり、いい音が出せるようになりました。12月15日（金）の音楽発表会では、『ミッキーマウスマーチ』の曲に合わせて太鼓をたたいて発表をしました。太鼓の先生も見に来てくれて、小学部のみんなの前でカッコいい太鼓を演奏することができました。



中学部 「晴天の下での持久走記録会！」

中学部では、12月7日（木）に持久走記録会を行いました。

天気にも恵まれ、10分間走グループ、1500mグループ、2000mグループに分かれて走りました。毎日の体育の授業では、持久走記録会に向けて仲間と競い合って記録を伸ばしたり、周回数やタイムを計測し、自分の記録に挑戦したりしてきました。当日は、どの生徒もこれまでの練習の成果を十分に発揮し、多くの生徒が新記録を出すことができました。お忙しい中、参観・暖かい御声援ありがとうございました。



高等部2年生 「校外学習」

2年生は11月30日に静岡県地震防災センターに校外学習に行きました。総合的な探求の学習では、「もし、災害が起きたら、自分はどう行動したら良いか?」「どうやって自分の命を守るか?」「自分達にできる防災、減災は何か?」などと、いつか起こるであろう災害を自分事として捉え、『ジュニア防災士』として、家庭内で防災リーダーとなれるよう探究活動を進めてきました。

当日は、地震防災センターの展示や起震車体験、防災講話を通して、それぞれが事前学習でもった疑問に対する答えを得ることができました。そして、これまでの学習の中で話し合い調べたことや、現地で学んだことを掲示物にまとめました。

また、昼食は、グループごとに新静岡セノバやパルシェで、自身で選んで食事をしました。短い時間でしたが、友達との街でのランチは楽しい時間となりました。



地震防災センターの職員から展示物の説明を受けました。



起震室にて映像を見ながら震度7までの揺れを体験。



新静岡セノバのフードコートにてグループ毎のランチタイム。

《お知らせ》

令和6年2月4日（日）に行われる「小山城 楽市」に本校高等部の4つの作業班（工芸班、紙技班、木工班、農耕班）が出店する予定です。小山城楽市は吉田町商工会が主催するフリーマーケットです。この機会に本校高等部の作業製品を手にとっていただけたらと思います。お待ちしております。（詳細については吉田町商工会ホームページを御覧ください。）

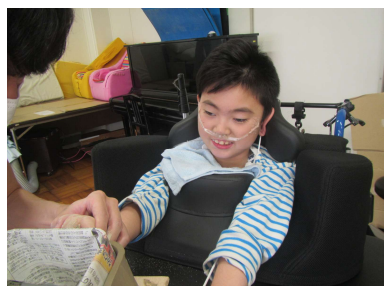
肢体学級 「陶芸教室を開催」

10月12日に、地域在住の陶芸家の菅原利英先生(陶芸工房悠峰)に、御来校いただき、「陶芸教室」を開催しました。

菅原先生は、いつも「おはよう!」と笑顔で元気よく来てくださいます。肢体学級の子どもたちとは長い関りがあります。毎年、この日のために何か月も前から「どうしたらやりやすいかな?」と考えて準備をしてくださっています。

子どもたちは「あ～菅原先生だ! 来た、来た、来た!」と笑顔でお迎えしました。

さて、今年度の陶芸のテーマは「小物入れ」です。まず、粘土の板に触れてみると、粘土の冷たさに、おもわず「えっ!(冷たい)」と、目を丸くして、感じ取ったことを表してくれます。「あれあれ、あれれれ」と、さっきまでの粘土の板が、どんどん形を変えていきます。この様子に驚きです。次は模様づけ。指で、(グーと)押してみたり、(カリカリと)引っ掻いてみたり、型抜きを試してみたり、棒を使ってみたりと。思ったよりもすぐに模様がつくことやちょっとしたやり方の工夫で様々な模様が生まれるのが面白かったようです。できあがった作品は「もえぎまつり」で展示し、地域の方々に鑑賞していただきました。



訪問教育 「スクーリング」

高等部の生徒は、もえぎまつりで本校の作業班(工芸班)や肢体高等部とコラボ製品を販売しました。高等部3年生は布を染めて、ボタンを50個作り、工芸班が制作したランチバッグやトートバッグに付けて本校の工芸班の友達と一緒に販売をしました。また高等部2年生の生徒は、紙粘土を丸めて鉢カバーの留め玉を作り、肢体高等部が制作した鉢カバーに付けて、本校の友達と一緒に販売をしました。それぞれのブースで「いらっしやい!!」のスイッチを張り切って押す姿が見られ、お客さんからもたくさん声を掛けてもらい、楽しく充実したスクーリング(訪問教育の児童生徒の集合学習)となりました。





第9回もえぎまつり

11月25日(土)に学校祭「もえぎまつり」を行いました。今年度は、保護者や地域の方々、協力団体、島田商業高等学校音楽部の皆さん、ボランティアの皆さんの御協力をいただき、賑やかなお祭りとなりました。

まつり開きでは、吉田町から「吉田かっぽれ」の講師をお招きして、楽しく踊って祭り気分が盛り上がりました。つながりタイムで子どもたちは、お客さんを精一杯もてなし、楽しんでもらいたい、という気持ちをもって運営ができました。午後には、コンサートが開かれ、楽しい一日となりました。来校された方々からは、「様々なブースがあって楽しかった。」「子どもたちが一生懸命で良かった。」等の感想をいただきました。お越しくくださった皆様、本当にありがとうございました。



《ボランティアの皆様、ありがとうございました。》

当日は、高等学校(榛原、清流館、島田商業、キラリ)の生徒さん7名、静岡大学生1名、計8名のボランティアの方々に御協力いただきました。皆様の支えがあってこそ開催できたお祭りだったと感じます。心から感謝申し上げます。

